

「もういいかい〜ハン
セン病と三つの法律」
(2012年製作、映
画製作委員会©)



暮らしの矛盾撮り30年

神戸を拠点に活動する映画の自主製作グループ「映画製作委員会」(鶴久森典妙代表)が設立30年を迎え、記念上映会を10月1、2日、神戸市中央区の兵庫県立美術館ミュージアムホールで開く。

同委員会は映画好きの市民らによって設立、1986年に第1作を発表した。一貫して「暮らしの中から見えてくる矛盾」をテーマとし、ハンセン

神戸の団体記念上映会

病やアトピー、核廃棄物などに焦点を当てた映画を10本作ってきた。今回の上映会では、過去の作品と最新作を上映。

1日午前10時半〜午後3時は、「24000年の芳舟」「奇妙な出来事アトピー」「紙芝居がはじまるよ!」「風ものがたり」「フランドン農学校の尾崎さん」の5作品。2日午前10時半からは「もういいかい〜ハンセン病と三つの法律」を上映する。両日とも1日券500円(中学生以上)。

2日午後2時からは最新作で、活動弁士・井上陽一さんの魅力を描いた「最後の活動弁士 井上陽一の世界」の上映と井上さんの活弁ライブがある。別途500円が必要。問い合わせは同委員会(078・333・8690)。

暮らしの家庭

ひとり親世帯 地方移住支援

ひとり親(シングルペアレント)世帯の地方移住を支援する自治体などが10月8日午前11時〜午後4時、大阪市北区の梅田スカイビルタワーウエストで合同相談会を開く。生活コストが低いなどの暮らしやすさをアピールし、移住促進につなげたい考えだ。

北海道幌加内町、長野県、三重県鳥羽市、大分県国東市など9団体が参加。取りまとめ役の公益財団法人ふるさと島根定住財団(松江市)によると、島根県浜田市が2015年度、介護分野での就労を条件に移住したひとり親世帯に対する家賃補助などを発表したところ、多数の問い合わせがあった。「具体的な説明を聞き、移住を考えるきっかけにしてほしい」と同財団担当者。問い合わせは同財団(0852・28・06690)。